

のっぽの手

発行

ふくしまNPOネットワークセンター

〒960-8034

福島市置賜町1-29 佐平ビル 8F

TEL024(528)1211 FAX(528)1218

「ふくしま NPO ネットワークセンター」の活動を振り返って ～1周年を迎えるに当たって～

代表理事 佐藤 和子

2001年6月30日「ふくしまNPOネットワークセンター」では、第2期目の総会を開催する運びになりました。ここまで歩んで来られたのは日常の仕事や世代間、地域のしがらみなどを超えて、ここ福島において次世代に向けての新たな第一歩を踏み出して行こうという熱い思いが原動力となってきたように思います。

さらなるステップへ踏み出すためには、次の6つの課題の解決に向けての取り組みが当センターの活動の重点になると考えています。

1. 福島県内のNPO法人との連携強化

当センターが2000年8月2日に福島県より21番目のNPO法人として認証を受けたのち、2001年5月31日現在で新たに16のNPO法人が認証を受け、公益的な活動を開始しております。また、現在縦覧中のものを含めると、福島県内のNPO法人が、46団体となり、1年も経たないうちに2倍の仲間ができることとなり、今後ともNPO法人格を取得する団体が増加することと予測されます。そのためにも、市民サイドから見た同じ問題や課題、さらに解決方法などNPO法人間で連携することにより、お互いに学びあい、力を蓄えることが活動を円滑にするためにも必要と感じております。当センターが力不足のところはありますが、今後は同じ思いで法人化した人々の交流の機会をつくって行きたいと思っております。

2. 任意の市民団体との連携

さらに、まちづくりや福祉などの市民活動の実績をすでに積んでおられる任意団体の方々から、法人格を取るべきか否かという相談を当センターで受けることがあります。その時の回答は「NPOの法人格を取得するのは、活動が明確で、必要な手続きと書類を整えれば認証していただけますが、取った後、法人格としての信頼を維持して行くための事務量が大変多くなります」とお応えしてから、NPO法人の良い面の話をすることとしております。また、法人格を取得したからといって活動形態が変わる訳ではなく、現在やっておられる任意団体の中で活動そのもの、資金、事務能力などの力をつけて行くことが第一だと考えております。

当センターでは、NPO法人格を取らない公益的な活動目的をもった団体の方々とも連携できるように情

報の発信をするとともに、交流の場を設けて行きたいと考えております。

3. 市町村行政とのパートナーシップづくり

県内の市民活動団体の方々が集まる会合に何回か出席すると必ず出る話題が、行政と市民活動団体とのパートナーシップについてですが、特に身近な市町村となかなかうまく連携が形成できないのが実情のようです。これには、妙薬が無く、行政に携わる個々人の自覚と変革を待つとともに、各団体が根気よく実績を重ねて行くことが大事だと思います。

しかし、地方自治体を取り巻く環境は、税収の減収、地方分権改革の進行など、必ず市民と行政との連携の中での役割分担が余儀なくされます。このため、当センターでは市民と行政との真のパートナーシップが結べる「市民活動のための条例」制定などの検討を開始したいと考えております。

4. 地縁の壁(福島という限定された地域の中での人材の有効活用)

NPO法人を立ち上げたものの、従来の組織づくりからの脱却が難しく、人材の掘り起こしと人材データベース化の必要性を痛感しています。今年の活動の重点として、いろいろと違った場面の人と人との出会いの場を設けて、市民主体の新しい地域社会をつくっていくためのしくみづくりができればよいと考えています。

5. ボランティア活動とNPO活動との違い

なぜか、多くの人々がボランティア＝NPOと誤解している傾向があります。多くの共通項はありますが、NPOは行政と企業と市民(ボランティア活動等)とを繋ぐ自立した中間的な活動体です。当然のことながら、NPOは有償活動を基本とし、財政基盤の確立が当面の大きな課題になっています。

6. 広報・公聴活動の大切さ

最後に、前に述べた活動を支えていくためには広報・公聴活動が大事なこととなります。しかし、広報・公聴活動(情報受発信)は、継続・持続性が大事であり、まさに人・モノ・カネのネットワーク化が当センターに課せられた課題ではないかと考えております。

福島県における市民活動団体実態調査についてのご報告

～ 福島県における市民活動の現況と課題 ～

福島県県民生活課から「ふくしまNPOネットワークセンター」に委託されて調査を行っていた市民活動団体・NPO法人に対するアンケート調査（平成12年度委託調査）が、3月末にまとまりました。

調査に携わった初澤敏生氏（当センター理事・福島大学教育学部助教授）が、第10回「福島NPO研究会」（4月18日開催）において、「福島県における市民活動の現況と課題」と題して報告致しました。その概要は、以下のとおりです。

- アンケート対象 福島県内の市民活動団体 1,000 団体及びNPO法人 36 法人
- 有効回答数 市民活動団体 672 団体(回収率 67%)
 NPO法人 21 法人(回収率 58%)

- 組織・体制 自ら活動し、活動を支援する個人が会員となって組織を支えている。しかし、団体間の格差は大きいのが現状。
- 会員の募集方法 パンフレット等、資金を必要とする募集より、口コミや市町村の広報誌などの記事、マスコミ報道などが有効性が高い。
- 事務所等の設置 市民活動団体は事務所をほとんど保有しておらず、会員の自宅や公的施設内におかれているケースが多い。一方、多くのNPO法人は事務所を保有している。
- 専属スタッフ 市民活動団体には専属スタッフがほとんど存在していないのが現状。
 一方、NPO法人には存在しているが、スタッフの拡充が今後の課題となっている。
- 財政基盤 財政基盤はいずれの市民活動団体、NPO法人も、非常に弱い状態にある。
 収入は会費と寄付金、補助金等で過半を占める団体が多く、事業収入の拡充が課題となっている。
- 行政・企業との連携 市民活動団体と行政・企業との連携は必ずしも十分とはいえない現状にある。
 NPO法人も行政・企業との連携は十分ではない。市民活動団体やNPO法人も行政・企業とのパートナーシップの形成がこれからの課題となっている。

「福島県における市民活動団体実態調査報告書」（A4判、64 頁）をご希望の方は、
ふくしまNPOネットワークセンターまでお申し込みください。

実費で頒布いたしております。

* 頒価 1冊 500 円＋郵送料 390 円（切手でも可）

* 正会員、準会員、賛助会員の皆様には、
会員サービスとして1冊贈呈申し上げます。

～循環型社会実現のために～
《環境メッセ東北 2001》

日時 7月3日(火)～5日(木)
 会場 夢メッセみやぎ展示場／会議棟
 主催 NPO 法人 環境会議所東北
 (財)宮城総合研究所

… 入場無料 …

7月3日(火)パネルディスカッション
 “どう創る循環型社会！NPOの役割は…”
 において、当センター理事中井勝己氏が参加します。

問い合わせ先
 NPO 法人 環境会議所東北
 TEL 022-218-0761

第10回
《BFC ふくしま 市民学習会》

～精神障がい者グループホームの実際～

講師 渡辺邦弘氏 (わかば共同作業所所長)

日時 8月21日(火) 19:00～20:30

会場 福島市保健福祉センター 3階会議室

… 入場無料 …

問い合わせ先

〒960-8116 福島市春日町8-39

BFC ふくしま小規模作業所「ゆ～もあ～と」内

TEL/FAX 024-531-1027

♪ 情報大募集 ♪

県内のNPO法人、市民団体の催しものなどの情報を
 当センターまでお寄せください♪「のっぽの手」に掲載します。
 イベント名、日時、会場、料金、主催者、お問い合わせ先等を明記し、
 当センター事務局までFAXにてお願いいたします。

会員紹介

NPO法人 サステナブル・コミュニティ研究所

私たちは、次の7つの目的と活動を掲げ、
 少ないスタッフで頑張っております。

〒960-0446

福島県伊達郡伊達町字諏訪野1-1-61

TEL024-583-4457 FAX024-551-2466

歩行者や自転車、車、バス、電車等のあり方と、
 車の排気ガスや騒音について話し合い、快適で
 安全なまちづくり

地域の歴史や文化、風習等を発掘し、街
 並み景観や賑わいのある風景づくりによ
 り、生き甲斐と誇りが持てるまちづくり

家庭でのリサイクル、再資源化や
 ゴミを出さない賢い暮らしを

家庭の生ゴミで堆肥を作り、草
 花や有機野菜を育て、楽しい余
 暇時間を過ごす快適な環境作り

水を守るために、森や川の
 環境を守る活動

伝統的行事への参加、道路や公園、
 公共施設等の維持・管理に協同と友
 愛の精神で参加

草花や木を植え、自然を手の
 ひらに取り戻す環境美化運動

ふくしまNPOネットワークセンターからのお知らせ

◆6月14日(木)◆

拡大役員会

18:30～ まちの和研究所会議室

◆6月16日(土)～17日(日)◆ エコマネー(地域通貨)先進地視察

参加者募集中!!

* バスツアー(マイクロバス)のため、先着申し込み20名とさせていただきます *

* 詳細のお問合わせ、お申し込みは当センターまで、TELまたはFAX でお願ひします *

コース... 6月16日 福島→東京多摩ニュータウン「**COMO倶楽部**」→宿泊地(甲府市内)

6月17日 宿泊地→山梨県小淵沢町「**ハヶ岳大福帳**」→福島

・ 参加費 20,000 円 程度 (交通費・宿泊費込み)

* 「**COMO倶楽部**」...コミュニティ再生をめざしたエコマネーの実験で、現在 74 名の会員が運営しています。

* 「**ハヶ岳大福帳**」...小淵沢町の飲食店や工房などを経営する人たちが中心となって運営しており、会員数は 75 名です。

◆6月22日(金)◆

第10回理事会

18:30～ まちの和研究所会議室

◆6月30日(土)◆

ユニックスビル9F 会議室

第2回 総会

13:30～15:00

一周年記念講演会

15:30～17:00

～地域貨幣とまちづくり～

村山 和彦氏/千葉まちづくりサポートセンター副代表

* 詳細は当センターにお問合わせください *

* 講演会終了後、交流会を
予定しております *

ふくしまNPOネットワークセンターの
応援団!

★ 賛助会員 (2001年5月25日現在) ★

六陽印刷・タカラ印刷・ウェブラン

東邦銀行・福島信用金庫・ラジオ福島

♪ 会 員 募 集 中 ♪

ふくしまNPOネットワークセンターでは、
月 833 円で私たちの未来を開く活動を
展開しております。どなたでも参加できます。

正会員 年会費 10,000 円

準会員 " 5,000 円

賛助会員 " 50,000 円

(たまに飲み会もありまあ～す!)

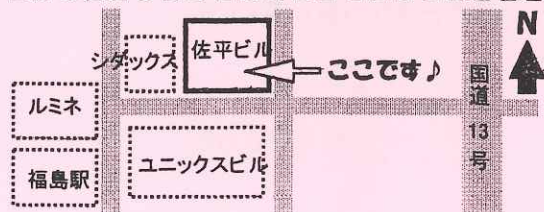
のっぽの手

NPO という言葉が、「のっぽ」になってきた。目を
キョロキョロ、耳をそばだて、情報センター基地より
しく背伸びし、『野っ穂』という在野からの豊かな実り
を実現するために手をさしのべ携えていく、というイ
メージです。

編集後記

あゝ 事務局に来る道々、新しいお店を発見するのは楽
しいものです。ランチの美味しいお店、マニアックな小物
のお店など、だいぶ増えてきました。街中に遊びに来た時は
事務局にもおいでください(^o^)(NEO♪)

小泉政権の人気の高いようですが、果たして持続
するのでしょうか? ふくしま NPO ネットワークセンターでは
人気投票を行っていませんので、当センターのランクがど
の程度かわかりませんが、最近いろいろな相談が持ち込
まれるようになりました。(S.S)



ふくしまNPOネットワークセンター 事務局

〒960-8034 福島市置賜町1-29 佐平ビル 8F

TEL 024-528-1211 FAX 024-528-1218